

令和 6 年度

事業所番号

0173

事業所番号

017300

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	
A	A…原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	新電元工業株式会社 飯能工場	前年度における事業所数	3
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村 飯能市		
	字・地番 南町10番13号		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の集合のみ記入)			
産 業 分 類 名 (中 分 類)	29 電気機械器具製造業		
分 類 番 号 (中 分 類)	29		
事 業 活 動 の 概 要	閉鎖拠点においては建物維持・管理の為にエネルギー消費あり。 過渡的な措置として、埼玉県内の関係会社敷地内に一部当社業務を開始したことから、事業所数を増加しエネルギー集計を実施。		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO2	基準となる 原 単 位	t-CO2/
		閉鎖拠点では事業活動を行っていない。拠点の収束として、受変電設備の閉鎖や建屋解体を段階的に進めていく。 関係会社敷地内で実施中の業務については、新規稼働かつ今後の動向が未定の為、現時点では削減基準等を設けていない。今後の動向を注視する。(ただし2023年度以降100%再エネ供給される)				
削減目標	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO2	基準となる 原 単 位	
		現時点で、拠点の完全清算日程は未定				
削減目標	その他ガス					

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	新電元工業株式会社 飯能工場	飯能市南町10番13号
2	新電元工業株式会社 高麗工場	日高市梅原35
3	株式会社岡部新電元敷地内 評価棟	深谷市本郷342番地1
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	新電元工業株式会社 飯能工場	飯能市南町10番13号
2	新電元工業株式会社 高麗工場	日高市梅原35
3	株式会社岡部新電元敷地内 評価棟	深谷市本郷342番地1
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

（1）原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 [2020年度]	令和3年度 [2021年度]	令和4年度 [2022年度]	令和5年度 [2023年度]	令和6年度 [2024年度]
		1,059	350	214	

（2）計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 [2020年度]	令和3年度 [2021年度]	令和4年度 [2022年度]	令和5年度 [2023年度]	令和6年度 [2024年度]
エネルギー起源CO ₂	基準		2,072	525	156	
前年度比（％）		—		-74.7	-70.3	
基準となる排出量に対する削減率（％）						
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計			2,072	525	156	

（3）計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 [2020年度]	令和3年度 [2021年度]	令和4年度 [2022年度]	令和5年度 [2023年度]	令和6年度 [2024年度]
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基準					
前年度比（％）		—				
基準となる原単位に対する削減率（％）						
活動規模の指標単位						

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	飯能工場はC事業所として活動しており、別途報告済。 高麗工場は、関係会社である「新電元スリーイー」所有であり、当社非保有。
令和3年度 (2021年度)	飯能工場を2021年度中に閉鎖したことより、A事業所に転換。 高麗工場を2021年4月1日付で当社承継したことより、A事業所として計上 A事業所群としての資料作成は2021年度実績より開始する (2022年度以降報告) 飯能工場においては、2020年度までの事業活動を停止したことによりCO ₂ 排出量は激減。 現時点では建物の維持管理による排出のみ発生している。 高麗工場においては、当社としての管理初年度ではあるが、飯能工場と同様に閉鎖事業所 であり、建物の維持管理による排出のみ発生している。
令和4年度 (2022年度)	閉鎖事業所事業の一部を、過渡的措置として当社関係会社：株式会社岡部新電元内の敷地 にて実施。A事業所扱いとして計上。 飯能工場においては、拠点収束対応が進んだことで昨年度より更に維持管理排出が減少。 高麗工場においても、建物の維持管理排出のみの状況は変わらず。
令和5年度 (2023年度)	2023年度より株式会社岡部新電元にて低炭素電力受入を開始したため、 エネルギー起源CO ₂ 排出量が△70.3%減少した。 飯能工場においては拠点収束の対応を継続して進行中。 高麗工場においても建物の維持管理排出のみで状況は変わらず。
令和5年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	各種老朽化機器の更新	R19前	R19前	565.0
2	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	各種照明のLED化	R19前	R19前	60.0
3	370700	電動応用設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	各種実験用炉等の運用見直し・更新等	R19前	R19前	71.0
4	350600	受変電設備、配電設備	35_抵抗等による電気の損失の防止に関する措置	受変電設備の段階的閉鎖によるエネルギー削減	R5	R5	150.0
5	390700	昇降機	39_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	駅組工場 昇降機について運転管理による待合の停止 1台	R4	R4	0.1
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

--